

あなたと議会の懸け橋

大河

No.168

2024

10.25

令和6年9月定例会

千代田町議会だより

つなごう 子どもたちに

表紙の説明は最終ページをごらんください



読み込むと、議会
ホームページが開
けます

特集

84億円の使い道 P.2

注目事業について町民に聞きました

令和5年度決算審査特別委員会 P.4

町のための様々な事業が活性化
多くの新規事業を含めた決算を徹底審査

令和6年9月定例会 P.6

議案の審議

一般質問 そこが聞きたい P.7

5名の議員が登壇

委員会のうごき P.10

町民の満足度向上へ／町民に寄り添ったサービス

要望書を提出 P.17

令和7年度に向けた予算要望

お知らせ P.17

第10回 議会報告会開催

ふるさと応援寄附金の約半分が返礼品と経費で残り約15億円が町の収入になります。一般会計の一部を加え、19億3,000万円を積立しました。

基金の内訳

- 義務教育施設改修改築基金 10億円
老朽化した中学校を建て替えるための積立です。
- 財政調整基金 3.7億円
大規模災害の発生や大幅な税収減などがある年度に取り崩しを行います。
- ふるさとづくり基金 1億円
創意工夫を凝らし、個性的なふるさとづくり事業の実施に必要な積立です。
- その他基金 4.6億円

若 者

奨学金貸付事業

1,020万円

進学の意欲と能力があるにもかかわらず、経済的理由により就学困難な方に対して、資金的な支援をします



詳しくはこちら

定住・移住促進事業

1,140万円



詳しくはこちら



いしかわ ゆういち
石川 雄一さん
(下中森7区)

移住の決め手は住みやすく、田んぼの風景が大好きだからです。

高 齢 者

高齢者健康ふれあい事業

713万円

高齢者のいきがいづくり事業です

在宅高齢者福祉等推進事業

1,040万円

在宅高齢者の福祉向上事業です



たなか もりえ
田中 盛栄さん
(木崎9区)

今後も高齢化が進むので、予算を増やしてほしいです。



84億円の使い道

ふるさと応援寄附金
29億9,789万円

3年連続
県内1位

全ての町民

子ども

災害対策事業

2,783万円



ハザードマップの見直しや
備蓄品の購入

詳しくはこちら

入学祝金事業

930万円

小・中学校入学時に
お子さん1名につき
5万円の祝金を支給



道路維持事業

9,140万円

各行政区長より要望のある緊急性の高
い小規模な維持修繕工事

交通安全施設
整備事業

538万円

児童・生徒の安全確保を中心とした交
通安全対策

予防接種

3,190万円



詳しくはこちら



おぎはら かずや な お かえで あずさ れお
荻原 和也さん、奈央さん、左から楓さん、梓さん、獅さん
(舞木東16区)

入学祝金、助かります。

ハザードマップ、見直さ
れて見やすかったです。

町民の健康促進につな
がれそうです。

町のための様々な事業が活性化 多くの新規事業を含めた**決算**を徹底審査

主 な 質 疑

自治体は非課税

問 債券運用の手数料と利息の課税はどうなっているか。

答 手数料については新発債は発行体の負担で既発債は利率の中に組込まれています。運用益については預金利息も含め自治体は非課税です。

残りは3地区

問 令和5年に8区(萱野)と9区(木崎)が自主防災組織を作ったが、残りの地区は。

答 全部で22か所の内、1区(赤岩)、14区(舞木)、3区(熊野)の3地区です。

14基設置

問 合併浄化槽補助金が14件だが、県内の普及率は。

答 汚水処理人口普及率が高くないため、エコ通信で啓発しています。今後は民間業者の力も活用します。

令和5年度決算審査特別委員会

審査年月日：令和6年9月9日、10日

審査会場：全員協議会室

委員構成：11名全議員

委員長 大澤 成樹

副委員長 橋本 和之



自主防災組織の訓練



転入後も使えます

問 サービスが受けられます。母子手帳アプリと

サービスが受けられます

答 「母子モ」のアプリを使用していれば、郵便番号登録で本町版が使用でき、サービスが受けられます。



合併浄化槽への転換に補助金がでます



台湾の人気メニューで交流

台湾の給食を提供

問 台湾の学校との交流はどのようなものか。

答 学校給食の交換プロジェクトを行いました。

桜は植樹、松は伐倒

問 クビアカ被害木や松くい虫被害木伐倒後の植樹の予定は。

答 桜は町有地が多いため、一部植樹しましたが、松は私有地のため行きません。

3割が外国人客

問 訪日外国人旅行者周遊促進事業の実績は。

答 台湾人のインフルエンサー活用後は寺泊の利用に台湾の方が増えました。宿泊実績は日本人7割、外国人3割です。

今回は活用を

問 町長選、町議選の予算執行率が低かったが。

答 公費負担の新設に伴い予算を多めに確保していたが、負担項目によっては使用されない方がいました。



外国人にも人気の客室

バイクは乗船禁止に

問 渡船事業の利用状況でバイクの乗船が令和5年度はゼロだが。

答 国の安全基準見直しにより、バイクの乗船が出来なくなりました。



毎日安全運航

高校入学時も検討

問 入学祝金（小中入学時）の支給による転出防止の効果はあったか。

答 入学時の転出防止と保護者の負担軽減を目的とし、効果がありました。今後は高校入学時も検討します。

令和5年度決算に関しては

さらに詳しく



広報ちよだ10月号もご覧ください



令和6年 9月定例会

9/4 ▶ 9/13
(10日間)

本会議

4日 一般質問
5日・13日 議案審議
委員会
6日 総務産業・文教民生
9日・10日 決算審査
(特別委員会)

令和6年第3回議会定例会が、9月4日から13日までの10日間の会期で開かれ、報告、条例の改正、令和5年度決算の認定、令和6年度一般会計補正予算等が上程されました。決算の認定については、決算審査特別委員会において慎重に審議を行いました(P.4-5)。また、5名の議員が一般質問に立ち、町の考えについて質問しました(P.7-9)。

主な質疑

中学校建替えに向けて

問 中学校建替えの基本計画とは。

答 施設の整備にあたっては、基本構想・基本計画・基本設計・実施設計の4段階を踏み、建築に当たっていきます。

中学校の建替えに関しては、児童生徒及び保護者との合意形成を図り、計画に盛込んでいきます。



詳しくはこちら



発電機の整備予定地

災害に備えて新たな発電機を設置

問 発電機は今あるものを移設するのか。

答 新規のものになります。役場が災害時に対策本部としての役割・機能を果たすため、浸水想定外の場所に設置し、72時間連続発電可能な発電機を整備します。工事費のうち約7割が普通交付税で措置されます。既存のもの撤去します。

審議議案と議員の賛否（9月定例会）

上程された議案・概要・結果	畑中弘司	茂木琴絵	金子浩二	橋本博之	原口剛	大澤成樹	酒巻広明	橋本和之	大谷純一	柿沼英己	森雅哉	議決結果 (賛成:反対)
専決処分事項												
◆令和6年度千代田町一般会計補正予算(第3号) 新型コロナウイルス接種事業を早急に実施する体制を整えたり、非常用発電装置更新移設工事費を追加するために6,442万2千円を追加し、予算の総額を76億3,759万1千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
条例改正												
◆千代田町職員定数条例の一部を改正する条例 令和6年4月の機構改革に伴い、東西こども園が教育委員会の事務部局へ移管したことから、町の事務部局の職員数を減らし、減らした同数を教育委員会の事務部局の職員数に加えた数に改めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
◆千代田町税条例の一部を改正する条例 条例の根拠となる法律等の改正が施行されたため、本条例においても所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
◆千代田町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例及び千代田町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 「介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準」の改正が施行されたことに伴い、本条例においても所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
補正予算												
◆令和6年度千代田町一般会計補正予算(第4号) 歳入では、地方特例交付金や地方交付税、緊急防災・減災事業債の起債、ふるさと応援寄付金や繰越金を追加するもの。 歳出では、繰越金の積み立てに当たる財政調整基金積立金、ふるさと応援寄付金事務に係る経費、児童手当制度改正に伴う経費、都市計画道路延伸事業における追加経費、中学校建て替えに向けての基本計画策定業務に係る経費等の追加を行い、合計で11億2,267万円を追加し、予算の総額を87億6,026万1千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
◆令和6年度千代田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 歳入では、前年度決算の確定に伴う繰越金、前年度保険給付費等交付金普通交付金の剰余金を追加するもの。 歳出では、国民健康保険事業費納付金の不足分、基金積立金、諸支出金の追加を行い、合計で2,477万9千円を追加し、予算の総額を12億4,149万3千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
◆令和6年度千代田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入では前年度決算に伴う繰越金の確定により減額を行い、合計で30万3千円を減額し、予算の総額を1億9,115万5千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
◆令和6年度千代田町介護保険特別会計補正予算(第2号) 歳入では、介護給付費財政調整交付金の交付決定額に基づく減額のほか、保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金、前年度繰越金の確定に伴い繰越金を追加するもの。 歳出では、介護給付費準備基金積立金、返還金及び総務費剰余金の一般会計への繰出金を追加するほか、歳入の国庫支出金の減額に伴い財源補正を行い、合計で1,711万2千円を追加し、予算の総額を10億9,575万1千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
◆令和6年度千代田町公共下水道事業会計補正予算(第1号) 収益的収入では3,173万8千円を追加し、予算の総額を2億2,582万円とし、また、収益的支出では1,164万6千円を追加し、予算の総額を1億9,881万7千円とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
工事請負契約の締結(P.6)												
◆工事請負契約の締結 役場の駐輪場がある場所の北側の職員駐車場の一部に非常用発電機およびキュービクルの更新移設工事を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(10:0)
人事												
◆千代田町教育委員会の委員の任命の同意 任期満了となる大野仲二氏を引き続き教育委員に任命するため、議会の同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意(10:0)
令和5年度 決算(P.2~6)												
◆令和5年度千代田町一般会計歳入歳出決算の認定 歳入総額 89億7,021万8,777円 歳出総額 84億363万8,960円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定(10:0)
◆令和5年度千代田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 歳入総額 11億4,751万8,753円 歳出総額 11億1,718万6,192円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定(10:0)
◆令和5年度千代田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 歳入総額 1億6,672万1,125円 歳出総額 1億6,402万3,447円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定(10:0)
◆令和5年度千代田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 歳入総額 10億2,949万22円 歳出総額 10億916万6,735円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定(10:0)
◆令和5年度千代田町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 歳入総額 3億309万727円 歳出総額 2億6,864万6,923円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定(10:0)

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します(○は賛成、×は反対、欠は欠席)

一般質問

そこが聞きたい 5名の議員が登壇

一般質問とは議員一人の持ち時間が決められており（本町は答弁も含め40分以内）、その中で町長や町行政機関の長に対し、町の施策等、考えや報告、説明を求め、または質疑をすることです。ここでは各議員1項目についてダイジェスト版でお知らせします。

柿沼 英己 議員

P.7

①小中一貫校について

茂木 琴絵 議員

P.8

①投票率向上について
②千代田町立山屋記念図書館の活用について

畑中 弘司 議員

P.8

①新たな町の開発について
②広域行政について
③働き方改革について

橋本 和之 議員

P.9

①防災・減災対策について

大澤 成樹 議員

P.9

①町民の命を守る暑さ対策について

WEBで議会を見よう！
会議録にて全文を見ることができます。

注)公開までには一定の期間を要します。



SDGs（エスディーゼーズ）とは、地球で暮らし続けていくために達成すべき17の目標

本町では、第六次総合計画にこれらの考えを取込みながら、SDGsの達成に貢献できるよう取組んでいます。本町議会でも、これらを取り入れ、各議員の一般質問に関連するロゴを掲載しています。



4 質の高い教育をみんなに



柿沼 英己 議員 KAKINUMA HIDEMI

学校減で人口流出が懸念されるが

【町長】地域の活力低下にならないよう検討します



二つぶやき//

小中一貫教育は素晴らしいことですが、設置形態は住民のコンセンサスが重要です！

町長 本町にとってどのような形式で、どのような方々を対象にするか検討して実施していきたいです。

町長 基本的方針、計画の策定、パブリックコメント、住民説明会、小中一貫教育の進め方を含む小中一貫教育推進計画。これを策定するの。

町長 栃木県茂木町は、中学校建て替えにあたり説明会を一般住民、小学校の保護者、中学校の保護者を対象に3回実施したが、本町も説明会をやるのか。

町長 一つの所に集める集約型か、西小学校、東小学校を残す分離型のコスト比較をするのか。

町長 教育長 今後の方向性が決定していませんので、推進計画は策定していません。

町長 学校が減ると、人口流出などの副作用が懸念されるとあるが、どのようにするの。

町長 学校が減ること地域活力低下にならないよう、最良の方法を検討します。



中学校建て替え、小中一貫校の検討



茂木 琴絵 議員 MOTEGI KOTOE

山屋記念図書館の活用は

【町長】時代とともに活用方法を検討します

問 開館時間と休館日の変更は。
教育委員会事務局長

幅広いニーズに対応できるように心がけています。一年を上期・下期に分けて開館時間を変更したり、フリーングシエーター期間内の開館時間を変更するなど、時間延長に向けて前向きに取り組めます。

問 直座りできる親子スペースの設置は。

教育長 創意工夫をしながらスペースの確保に取り組むと同時に、財政状況を踏ま

えながら色々な可能性を検討します。

問 今後の方向性について

町長 山屋記念図書館は近隣自治体に先駆けて建設され、山という形をデザインした建物になっています。今まで様々な修繕・改修工事を行いました。現状維持の形になっています。より良い図書館になるよう、議員はじめ有識者を交えながら、時代に即した運営方法を協議していきます。

誰もが自由に気楽に利用できる場として充実を望みます。



ファサードは憩いの場としても

11 住み続けられるまちづくりを



畑中 弘司 議員 HATANAKA KOJI

新たな町の開発は

【町長】移住定住を促進する事業を検討します



問 残りの住宅地と商業用地は。

都市整備課長 定住、移住促進の取組みとして県企業局と連携を図り早期完売に努めます。商業用地に関しては新たな店舗を誘致できるように粘り強く誘致活動を展開して行きます。

問 新たな工業団地開発は。

都市整備課長 町内の雇用を増加させる

働く場所と住める場所が増えれば、人口増加が見込めます。



完売した第三工業団地

ための有効な手段を考え群馬県と協議を行いながら次期工業団地についての検討を進めます。

問 今後の住宅地と町営住宅の開発は。

町長 周辺環境との調和を図りながら、地区計画制度を活用し更なる拠点形成を目指します。移住定住の新たな受け皿として町営住宅の建設も検討します。



橋本 和之 議員 HASHIMOTO KAZUYUKI

災害派遣を経て今後の施策は

【町長】建物被害認定調査システムの導入です

13 気候変動に
具体的な対策を



問 要配慮者対策としてC
OMハウスやみどりの風な
どと町が合同避難訓練をし
て課題を共有しては。

総務課長 6月15日と7月

18日に各施設の避難確保計
画に基づき町と合同で初め
て実施しました。避難にか
かる時間や避難経路などを
確認し要配慮者に対する課
題を把握することができ、
大変有意義なものになりま
した。

問 被災状況の迅速な把握
と要救助者の発見、被害地
図の作成や罹災証明の早期
発効に活用するため、民間

問 能登半島地震で職員2
名を人的支援でかほく市に
派遣した。今後の施策にど
のように生かしていくか。

町長 建物被害認定調査シ
ステムがなければ調査は困
難であったとの報告を受け、
既にシステム導入に向け準
備を進めています。

のドローン業者と災害協定
を結ぶ考えは。

総務課長 現在、協定締結
に向けて事務調整を進めて
います。館林地区消防組合
で既に配備活用しています
ので情報収集等連携を図り
ます。

被災現場に派遣された職員には貴重な
経験になったと思います。今後の施策
の反映に期待します。

// つぶやき //



消防組合で配備されているドローン



大澤 成樹 議員 OSAWA NARUKI

移動式エアコンの活用方法は

【教育長】併用しながら活用します



年々、暑さによるリスクが高まって
います。各自が熱中症のことを学ん
で重症化を防ぎましょう。

// つぶやき //

問 過去2年間の猛暑日、
真夏日の状況は。

総務課長 令和4年度は、
猛暑日24日、真夏日67日、
令和5年度は、猛暑日42日、
真夏日が91日です。今年度
は、8月13日現在で、猛暑
日27日、真夏日は56日です。

問 中学校体育館に配備さ
れた移動式エアコン、今後
の活用方法は。

教育長 活動に応じて移動
式・固定式エアコンを併用
しながら活用します。また、
有事の際には避難所等でも
活用します。

問 本年度は4公共施設を
クーリングシエルトに指
定しているが、次年度以降
の取組みは。

健康推進係長

公共施設だけでなく民間
施設も募集し、協定を締結
する等、順次拡大していき
ます。

問 熱中症への対応を徹底
するため職員研修等の実施
は。

健康推進係長

緊急事態に備え適切な対
応ができるよう、救命講習
と併せて熱中症対応研修会
の開催に向け調整していき
ます。



活用される移動式エアコン

町民の満足度 向上へ

委員会では、9月6日に町と「ふるさと納税の今後の展開について（小山市の視察を終えて）」の意見交換や本会議以外であった出来事の報告について協議しました。



県道の除草対策は
要望しています



県道における草の繁茂が目立ちます。ガードパイプ・縁石付近にも多くの草があり児童生徒の通学路でもあるため早急な対応が望まれます。

議員 県道の除草対策は。
執行部 県土木事務所へ適宜、要望しています。



販売の趣旨・目的は
消費喚起と地域経済活性化です



昨年度に引き続き、令和6年度もプレミアム付商品券を販売します。町内の取扱店で利用でき、40%分（令和5年度は30%）のプレミアムがついた、大変お得な商品券です。

議員 プレミアム付商品券の趣旨・目的は。
執行部 物価等高騰の影響を受ける町内店舗での消費を喚起し、地域経済の活性化を図ることを目的としています。



空き家等の状況は
増加の防止・適正管理・利活用に向けて取り組んでいます



空家等が年々増加しています。平成28年の空家等実態調査以降、空家等増加の防止・適正管理・利活用に向けて取り組んでいます。

議員 平成28年調査で空家候補145件、全ての所有者を把握できているのか。
執行部 相続等により所有者が明確でない物件も一部あります。



本年度の現状は
積極的に活動しています

- ふるさと納税を原資とした 施策17事業
- ① 切れない子育て支援
 - ・育児用品購入費助成事業
 - ・おたふくかぜワクチン接種費用助成事業
 - ・給食費半額補助事業
 - ・入学祝い金事業
 - ・子ども学習・体験事業
 - ・各種検定補助事業
 - ・高校生等自転車用ヘルメット購入費補助事業
 - ・高校生世代医療費無料化事業
 - ・KAKIJUMIAアクア使用料無料化事業
 - ② 子育て・教育施設等の整備
 - ・中学校舎建替事業
 - ・西こども園施設改修事業
 - ・生活道路等改修事業
 - ・公園遊具整備事業
 - ③ その他のサービス
 - ・福祉タクシー事業
 - ・フードバンク委託事業
 - ・移住者住宅取得費等補助事業
 - ・地域活性化キャッシュレス決済事業

詳しくはこちら



ふるさと納税は本町の貴重な財源の一つです。新規企業の商品開拓、既存企業・商品の育成、効果的な販売促進を打出しながら継続して積極的に活動しています。

議員 本町オリジナル缶のビールを返礼品にできないか。
執行部 販売本数・価格転嫁を考えると難しいです。
議員 中間事業者の見直しは。
執行部 新たな取組の一環として見直しも含めて研究していきます。

魅力ある新たな返礼品開発を

■ 令和6年8月7日

■ 栃木県小山市



小山市HP

ふるさと納税の新たな返礼品開発と寄附金の活用方法について学ぶ

本町の課題

本町により多くの人からふるさと納税をしてもらうには、どのような返礼品が好まれるのか。また寄附金の活用策とその効果などを研究し、活かす必要がある。



人気の返礼品（BOXティッシュ）

先進地の取組み

日用品などの生活必需品が選ばれる傾向にあり、特に大都市圏からの申込みが多い。寄附金は子育て支援関連に多く活用され、市長の目玉政策にもあてられている。

今後の取組み

ビールに続く第2第3の返礼品が必須であり、商工会・町内事業者との連携を深め、協議しながら、新たなふるさと納税の返礼品開発を進めていく必要があります。寄附金の使い道については、多くの町民が恩恵を受けられる活用方法をこれからも探っていきます。

特産物のブランド化で地域活性へ

■ 令和6年8月8日

■ 栃木県那須烏山市



那須烏山市HP

地域特産物のブランド化、新たな産業と雇用から生まれる地域再生を学ぶ

本町の課題

産業振興及び地域活性化に向けて、地場産商品のブランド化と新たな商品開発が必要である。



先進地の取組み

独自性の強い地場産商品や、一定基準を満たした商品を「なすからブランド」として認証し、差別化を図っている。また特派員制度を利用し、SNSで市の魅力を町内外に発信している。

今後の取組み

ブランド化については、認定の基準や策定などの様々な課題があります。本町でも今後のことを考えて、まずは独自性のある地域ブランドを立ち上げる土台を作る必要性を感じました。ブランド化は返礼品の開発促進にもつながるため、調査研究を継続していきます。

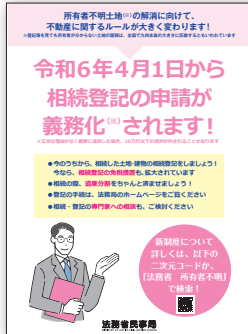
町民に寄り添ったサービス

委員会では、9月6日に町と「視察を終えての『子育て世代の行政サービス』について（ファミリー・サポート・センター事業について）」の意見交換や本会議以外であった出来事の報告について協議しました。



相続登記の申請が義務化

第3金曜日に相談会



詳しくはこちら



不動産に関するルールが大きく変わり、相続登記の申請が義務化されました。
登記申請についての相談会を開催します。

議員 手続きに不安な町民への対応は。
執行部 円滑に手続きが行える様、役場にて毎月第3金曜日に相談会を行います。



キャッシュレス決済

10月1日より開始



税の諸証明の発行手数料はこれまで現金のみの取扱いでしたが、キャッシュレス化することで利用者の利便性を高めていきます。

議員 キャッシュレス決済の種類について。
執行部 クレジット決済、電子マネー、二次元バーコード決済を使用し、10月1日から開始します。



生ごみ水しぼり器

しぼりっ子の配布始まる



詳しくはこちら



ごみ焼却場の燃料削減とCO₂削減を目的に9月17日から住民生活課窓口にて手続きの上156台配布しています。



ファミリー・サポート・センターは

保護者に向けて幅広く



詳しくはこちら



子育て世代に向けてのサポート事業です。幅広く利用してもらえるように、より一層周知に努めます。

議員 今後の事業拡大に向けて展開は。
執行部 こども園と小学校の保護者に向けて広報します。

元気に暮らす高齢者の健康づくり

■ 令和6年7月25日

■ 千葉県栄町



栄町 HP

高齢者に元気で孤独を感じない日々を過ごしてもらう支援体制の構築

本町の課題

病気にかかりにくい生活習慣を意識し、いつまでも元気でいきいきと暮らせる町として支援体制を整えていく必要がある。



先進地の取組み

高齢者の健康状況や生活状態を入念に把握している。フレイル予防に力を入れ、高齢者に孤独を感じさせない工夫や、食を通じ元気で健康維持する生活環境を整えている。

今後の取組み

いつまでも元気で安心して暮らせる町を継続するための手法を増やすと共に、健康寿命を延ばし、病気になりにくい体を作る方法を多くの町民に発信していきます。

子育て世代に必要な行政サービス

■ 令和6年7月26日

■ 神奈川県厚木市



厚木市 HP

子育て世代が安心して働ける環境の整備

本町の課題

6月より開始されたファミリー・サポート事業の運営と、本町で可能な子育て環境を検証し、サービスを向上させる必要がある。



子育て支援センターアミュー内

先進地の取組み

子育て世代の市民の方が安心して子どもを育てながら働きやすい環境を整える工夫がされていた。特に子育て支援センターでの相談体制を充実する事で、会員数の拡大が行われていた。

今後の取組み

ファミリー・サポート事業を推進し、多くの子育て世代の方に利用してもらえるように会員数の拡大を図ると共に、相談しやすい環境を作る事で、子育て環境に必要とされるサービスの向上に向けて調査研究をします。

地域と共に特色ある賑わいの場へ

- 令和6年7月17日
- 栃木県茂木町（道の駅 もてぎ）
- 栃木県小山市（道の駅 思川）

休憩機能に加え地域振興も含めた施設建設へ向け「道の駅」について学ぶ

本町の課題

新橋架橋が決定し、接続道路には、休憩施設のほか、地域住民のための交流施設や防災施設、そして地域創生における拠点となる施設が必要である。

先進地の取組み



道の駅 もてぎ



道の駅 思川

道の駅 もてぎ

「全国モデル道の駅6」に選定され、地域再生戦略事業として6次産業化に取組み、地元の農産物を原材料としたバウムクーヘンを商品化し、人気を博している。

また、特産品のゆずを使用した商品開発や、商品をより魅力的に見せる工夫が随所に感じられる。

更なる交流人口の拡大や土地の貸付料収入・雇用増等、町の持出しがほとんどないためメリットが大きく、町の活性化にもつながっている。

モビリティリゾートもてぎを含め町全体の交流人口は300万人超。自然を活かした町活性化のための施策が数多く実施されている。

道の駅 思川

小山物語館（物産販売）・小山食堂（レストラン）・小山評定館（地域のコミュニティ施設）・ワイワイ広場（子どもの遊び場）と、子どもからお年寄りまで楽しめる道の駅。特に小山評定館では、催し・サークル活動等が行われ、地元の来場者が多く、半年先まで予約が埋まっている。



道の駅 もてぎ



道の駅 思川

今後の取組み

休憩機能・情報発信機能・地域連携機能を基本とした新たな賑わいの場を創出することが必要である。特産品販売所や限定商品の開発、テーマパーク、展示施設、キャンプ場などの施設が設置され長時間滞在できる、魅力ある施設建設に向けて引き続き調査研究を行っていきます。

木のぬくもりがある中学校

■ 令和6年7月17日 ■ 栃木県茂木町（茂木町立茂木中学校）



茂木中学校
HP

本町のシンボリック校舎建設に向けて

本町の課題

本町の中学校校舎は建設から56年が経過し、老朽化による建替えの時期が来ている。小中一貫校を含め、将来の少子化対策や、給食センター、体育館の建替えなども総合的に判断する必要がある。



先進地の取組み

地元産の木材を使用した木造建築で、温かみがあり湿度が快適に保たれている。ロッカーなどの作りが生徒目線で作られていた。工事過程を生徒に見せることで校舎への愛着と理解を深められた。

今後の取組み

内装などに可能な限り群馬県産の木材を使用することが望ましい。小中一貫校を含め、子ども、保護者、教師など広く意見を聴取していきます。

全世代が滞在できる多機能型図書館

■ 令和6年7月17日 ■ 栃木県茂木町（ふみの森もてぎ）



ふみの森もてぎ
HP

最新の図書館運営を学ぶ

本町の課題

山屋記念図書館は老朽化による雨漏りがひどく、毎年のように改修工事をしている。手狭な造りで蔵書も少なくイートスペース、自習室も少ない。



先進地の取組み

中学校と同じ地元産の木材を使用した木造建築であり、街中に造り交流広場を設けイベントを開催することで賑わいを創出している。学生だけでなく全世代が滞在できる多機能型となっている。

今後の取組み

建物の新設検討も含め、駐車場を広く取り、図書館機能だけではなく交流広場や避難所など多機能化を考える必要がある。

読まれる広報紙を目指して

■ 令和6年9月25日

■ 東京都港区（ニッショーホール）

4月より委員会が新体制になったことから全国町村議会議長会が主催する令和6年度町村議会広報研修会に参加し、これからの議会広報紙の作り方について3名の講師から学ぶ。

委員会の課題

議会の透明性を図る一助になる議会だより「大河」だが、本町発行の他紙と区別が付けづらく認知されていない。また、町民が興味を持って読んでもらっている内容になっているのかを検証し、様々なアプローチを講じる必要がある。

研修会の内容

読み手である町民の視点にたち、一目で興味を引くような見出しをつけて、紙面のレイアウトや写真と文字のバランスを考えて構成するようにしている。また、議員各々が活動の中で常に住民の意見を拝聴しながら取材しやすい環境づくりをし、顔写真や声を掲載することに結び付け、住民参加の読まれる広報紙を目指していた。



取材にご協力を



よりよい議会だよりへ



過去の議会だより

今後の取組み

本町議会の動きとして、広報紙議会だより「大河」を町民に広く知ってもらおうこと、手に取って読まれることを目指し、今後も創意工夫していく必要があります。また、二次元バーコードを活用した情報発信など様々な技術を取入れ、新しい時代の編集を心掛けて行きます。

町長へ要望書を提出しました！

総務産業常任委員会要望事項

- (1)避難所となる公園トイレの改修を推進すること。
- (2)行政区における公園の調査・設置を推進すること。
- (3)ふるさと応援寄附金を原資としたちよふる事業を拡充すること。

文教民生常任委員会要望事項

- (1)児童館へ遊具の充実と職員の増強をすること。

- (2)熱中症対策として小中学校に冷水器を設置すること。
- (3)スクールバスの先行実施と下校時にシルバーへ見守りをお願いすること。
- (4)少子化対策として給食費を無償化すること。

両常任委員会要望事項

道路の除草及び維持修繕を徹底すること。



議長・副議長・両常任委員長より町長へ10月16日提出

お知らせ

第10回 千代田町議会報告会

～あなたの声を
聞かせてください～

令和6年

11月30日 **土**

(13:30 開場)

14:00～15:00 (予定)

会場

東部運動公園 KAKINUMA アクア(温水プール)
2階 小体育館
邑楽郡千代田町大字上五箇600-2 TEL.0276-86-3012



事前申込み不要
どなたでもご自由に
参加頂けます

第1部 議会報告会

- ・各常任委員会活動
- ・議会改革推進特別委員会活動
- ・議会広報編集委員会活動
- ・質疑応答

第2部 意見交換会

テーマ これからの町に必要なもの
やるべきこと

お問い合わせ：千代田町議会事務局 〒370-0598 邑楽郡千代田町大字赤岩1895-1
TEL.0276-86-7009 FAX.0276-86-4591 ✉ gikai@town.chiyoda.gunma.jp



WELCOME
MY TOWN
CHIYODA

ようこそちやだ Vol.9

移住して5年
もりじり まさや
森尻 昌也さん (上中森17区)
な お
菜緒さん
けんせい
建清さん (5年生)

家族：夫婦と子ども1人

移住した理由は？

千代田町出身なのでいずれは戻りたいと思っていて、子どもの小学校入学と共に移住しました。

本町の良いところ、自慢するところ

自然が多くてきれいなので、子どもと散歩や川遊びができる。

こうしたら、もっと良くなる千代田町

ジョイフル本田がある商業地域にもっとお店が増えるといいな！（コーヒー屋さんとかサウナなど）

移住を考える人に一言

千代田町は子育てしやすい、補助制度も手厚いので安心して移住できます。



移住した方大募集

本町に移住した方を紹介します。自薦他薦問いません。ぜひご応募ください。▶議会事務局 TEL.86-7009

ちょうどいいね ちやだぐらし



移住・定住
詳しくは
こちら

議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は、**12月2日(月)～12月6日(金)**の予定です
(一般質問は初日の午前9時からです)

会議録は町のホームページからご覧になれます [千代田町議会](#)
本号に取材協力いただきました皆様、ありがとうございました。

あなたの声で 議会が 変わる

読んでもらえる議会だより「大河」を目指して、広報編集委員会が議会だよりの作成に取り組んでいます。これからも町民の声を聴き、大河で届けていきます。町内で議員のインタビューを見かけたら、ご協力よろしくお願いします。

あなたの声を

ご意見
ご感想



どんなことでも

議会広報編集委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
員	員	員	員	員	員	員
畑 中	茂 木	原 口	大 澤	酒 巻	橋 本	金 子
弘 司	琴 絵	成 剛	広 樹	和 明	博 之	浩 二

発行責任者
議 長
森 雅哉



今号の表紙 ～つなごう 子どもたちに～

「次世代につなぐまちづくり」は、持続可能で住みやすいまちを子どもたちにつなぐ取り組みです。

また、教育施設の充実を図り子どもたちに安定した教育基盤を築くことが重要になります。それには、防災、福祉、教育などバランスの取れた予算の執行で元気で活力あるまちを目指します。

議会だよりに掲載された写真を無料で差し上げます。
詳しくは議会事務局まで ☎(86)7009